

年末年始など「季節の行事」における感染防止策の徹底について

学生の皆さんにおかれては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に日頃から真摯に取り組まれていることに改めて敬意を表します。

さて、本年も11月に入り、年末年始における行事が多くなる季節となりました。この「季節の行事」においては、多数の人が集まるケースが多いものの、適切に運営する管理者がいないなどから不特定多数の人が密集してしまうなど、行事が安全に行われない場合が危惧されます。

また、年末年始は帰省等により普段以上に人の流れが増え、また気分的に開放感が高まるなど気の緩みや環境の変化による感染リスクが非常に高くなることも予想されます。

現在秋田県内では63例の感染が確認（11月1日現在）され、全国では毎日500人を超える新たな感染者が確認されており、累計では10万人を超えているなどその感染は未だに拡大傾向にあります。

このような状況を踏まえ学生の皆さんにおかれては、今回新型コロナウイルス感染症対策分科会より出された政府への提言（感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」）を参考にするとともに、下記「季節の行事における感染防止策」に十分留意し、引き続き感染防止対策に取り組むようお願いします。

< 季節の行事における感染防止策 >

- 参加する場合には基本的な感染防止策を徹底すること。また、基本的な感染防止策が徹底されていない季節の行事への参加は控えるとともに、特に、自然発生的に不特定多数の人が密集し、かつ、大声等の発生を伴う行事、パーティー等への参加は控えること。
- 主催者がいる場合には、当該行事の主催又は参加に当たっては、適切な対人距離の確保、手指消毒、マスクの着用、大声での会話の自粛など、適切な感染防止策を徹底すること。
- 街頭や飲食店での大量または長時間・深夜にわたる飲酒や、飲酒しての季節の行事への参加は、なるべく控えること。
- 必要に応じて、家族同士で自宅で過ごす、オンラインのイベントに参加するなどの新しい季節の行事の楽しみ方を検討すること。

以上

令和2年11月4日
学長（危機対策本部長）